

## 【授業科目】検査精度管理学 Laboratory Precision Management

担当教員	開講年次	選択必修	単位数	時間数	授業形態	実務経験	オフィスアワー	教職員への授業公開
森本 誠	3年次前期	必修	1	15	講義	あり	巻末掲載	可
授業概要 (内容と進め方)及び課題に対するフィードバック方法	<p>授業概要/臨床検査の重要な業務の一つである精度管理は、検査データと測定過程の管理だけでなく、全ての手順工程の管理を目的とする。そのようないわゆる総合精度管理の考え方とその手法について教授する。基礎となる誤差評価の方法や統計的手法を原理に基づき、精度管理の仕組みを理解し、統計学的数理メカニズムを基礎として精度管理の知識や、臨床検査における基本的な精度管理の手法を教授する。講義では仮想データを用い、管理図の作成および管理図の捉え方について講義する。*実務経験を持つ教員が授業を進める。</p> <p>課題に対するフィードバック方法/提出された課題について、全体の総評コメントを掲示にて公開する。</p>							
授業の位置づけ	<p>本学のディプロマ・ポリシー①「臨床検査の専門性と責務を自覚するとともに、地域に住むあらゆる健康レベルの人々に専門的知識と技術に基づき臨床検査を実践できる。」の達成に寄与している。</p>							
到達目標 (履修者が到達すべき目標)	<ol style="list-style-type: none"> <li>① 精度管理用語を説明できる。</li> <li>② 基準範囲、カットオフ値の算出理論を説明できる。</li> <li>③ 精度管理図を作成することができる。</li> <li>④ 精度管理図から管理状態を把握する。</li> <li>⑤ パソコンを使用して解析結果を導くことができる。</li> </ol>							
時間外学習に必要な学修内容および学習上の助言	<p>第1～8回事前学習：指定の教科書を事前に読み、解らない用語について調べておくこと（各60分）。</p> <p>第1～8回事後学習：各回での学びを復習することで確認し、解らなかつたことは調べ教員に質問する（各60分）。</p> <p>*その他に、講義で学んだことを振り返るための課題を課すことがある（各120分）。</p> <p>※上記時間については、指定された学習課題に要する標準的な時間を記載してあります。日々の自学自習全体としては、各授業に応じた時間（2単位15回科目の場合：予習+復習4時間/1回）（1単位15回科目の場合：予習+復習1時間/1回）（1単位8回科目の場合：予習+復習4時間/1回）を取るよう努めてください。詳しくは教員の指導に従ってください。</p>							
授業計画	<p>第1回 精度管理概論</p> <p>第2回 精密と正確：系統誤差、偶発誤差、再現性</p> <p>第3回 内部精度管理法：管理試料を用いた管理図法</p> <p>第4回 検査法の標準化：標準法、基準法、標準血清、標準物質</p> <p>第5回 検査データの種類：基準値、カットオフ値、パニック値</p> <p>第6回 検査法の評価：特異度、感度、ROC 曲線</p> <p>第7回 不確かさについて：不確かさの推定</p> <p>第8回 各検査部門における精度管理</p>							<p>全て森本</p>
評価方法 評価基準	<p>成績は以下の評点配分によって総合的に判断する。</p> <p>課題レポート（講義内小テスト）30%、定期試験70%</p>							
教科書	『最新臨床検査学講座 検査総合管理学』 医歯薬出版 (2年 前学期「検査管理総論」で使用したものを使用)			参考書等		なし		
学生へのメッセージ	<p>模擬データを使用することにより、精度管理に対する理解が深められます。積極的に講義に取り組んでください。</p>							